

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。
そのなかで、当所経営指導員が会った「キラッ」と光る事業所の取り組みを
ご紹介させていただきます!



「今、翔ばたく時—」 更なる高みを目指すYBSグループ

YBS株式会社 代表取締役社長 壺阪 博昭氏



同社2階のスタジオ



キッチンスタジオでは、モリンガ
ロールケーキの試作中だった



スーパーフード「モリンガ」



モリンガで作ったソフトクリーム

現在までの歩み

海洋土木事業の先駆者として、数々の公共インフラの建設等ビッグプロジェクトを成功させてきた株式会社吉田組。その管理業務を担う会社として平成17年に設立されたのが、YBS株式会社だ。現在では、関連会社の管理業務を行う中で培ったシステム開発技術を応用した、デジタルサイネージ事業での成果がめざましい。企画から機械の設置、運用・管理までワンストップで引き受けるサービスで信頼を得て、全国的に顧客を獲得している。しかし、同社の魅力はこれにとどまらない。今、注目を集めるYBS株式会社を取材した。

地域の「いいね!」を、紙媒体・インターネット・スタジオで発信

「会社を育ててくれた地元へ感謝し、地域の皆様の役に立ち、地域の魅力をお伝えできるような仕事をしたい。」壺阪社長のそんな思いから、同社は地域情報誌「まるはり」や、インターネットサイト「姫路みたい」を運営する。最近では、「まるはり」と「姫路みたい」のコラボ企画も実施し、紙媒体とインターネットで、幅広い世代に地域情報をPRする。

さらに、今年7月に完成した新社屋2階には、最新の撮影設備を揃えたスタジオを新設。キッチンスタジオも併設されているため、イベントや料理教室などの撮影も行える。「まるはり」や「姫路みたい」とも連携することで、よりリアルでマルチな情報発信が可能となった。

「奇跡の木」モリンガとは?

新社屋2階のスタジオを見学していると、キッチンで作業中のスタッフの

姿が。「モリンガ」を使ったロールケーキを試作中だという。「モリンガ」とは、北インド原産のスーパーフード。栄養価が高く、デトックスやアンチエイジング・腸内環境の改善に効果的で、フィリピンなどで長く食されてきた歴史がある。温暖な地域でしか栽培できないといわれてきたが、壺阪社長が「姫路の緯度なら十分に育つ。」と栽培を開始。見事市内の自社農場での栽培に成功した。育てたモリンガは、より食べやすくパウダーやお茶に加工して販売する。新社屋1階の「モリンガパーラー」では、素朴な甘さの「モリンガソフトクリーム」も味わうことができる。

大注目のスーパーフード「モリンガ」の姫路での栽培については、同社が協力会社として提携するNPO法人「ネギぼうず」で働く障害のあるスタッフたちが担当し、障害者の継続就労支援に向けた取り組みとしても評価されている。

今後の展望

「我が社の社訓は、『社長の運』、『経営幹部の徳』、『変化に挑む社員』です。新規事業に恐れず挑戦し、今後、モリンガのようにすくすくと大きく育つ企業となることを期待しています。」と壺阪社長は語った。

DATA

事業内容：広告業および広告代理業、出版業
HP・デジタルサイネージの企画・提案・販売・運用
EC通販事業など

所在地：〒671-1116
姫路市広畑区正門通3-6-2

電話：079-236-1471
FAX：079-239-9961
URL：https://ybs-inc.biz/